

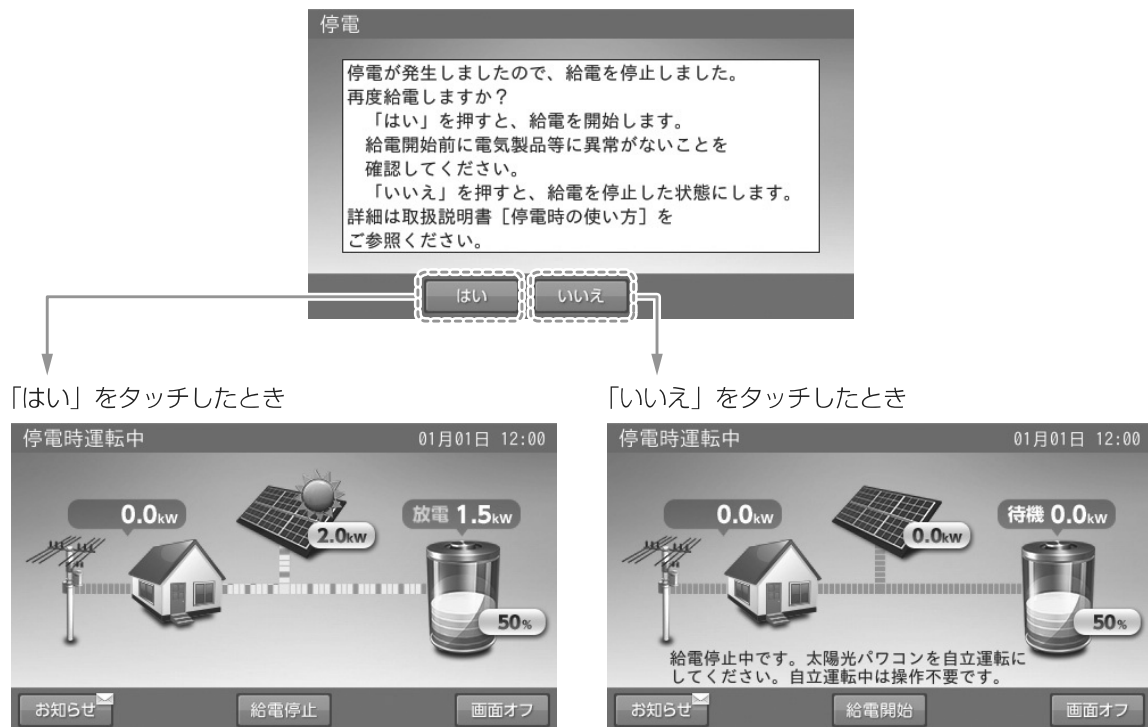
停電時の使い方（自立運転）

- 停電時出力設定を「自動」に設定されている場合（31 ページ参照）は、停電時に自動的に電気製品等に電気が供給されます。

■ 例：停電時運転中のホーム画面



- 停電時出力設定が「手動」に設定されている場合（31 ページ参照）は、停電発生時に確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると、電気製品等へ給電を開始します。停電時、電気製品等に電気を供給しても安全であると確認した後、室内リモコン画面の指示に従って操作してください。また、「いいえ」をタッチすると給電を停止した状態を維持します。

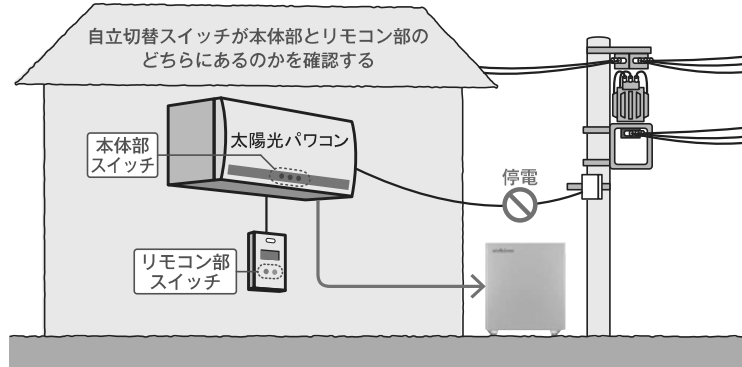


停電時の太陽光パワコンの使用について

停電時に太陽光パワコンの電源を蓄電システムから供給することで、停電時に家電製品へ供給できる電力量を増やすことができます。

蓄電システムと接続している太陽光パワコンの「自立⇔連系」運転切り替えについて

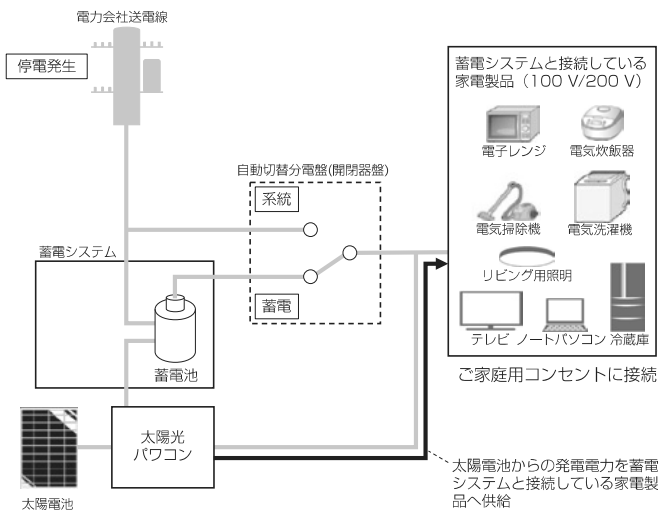
停電時に備えて、事前に太陽光パワコンの「取扱説明書」で「自立⇔連系」運転の切り替え方法をご確認ください。太陽光パワコンによって、切り替え方法が異なります。



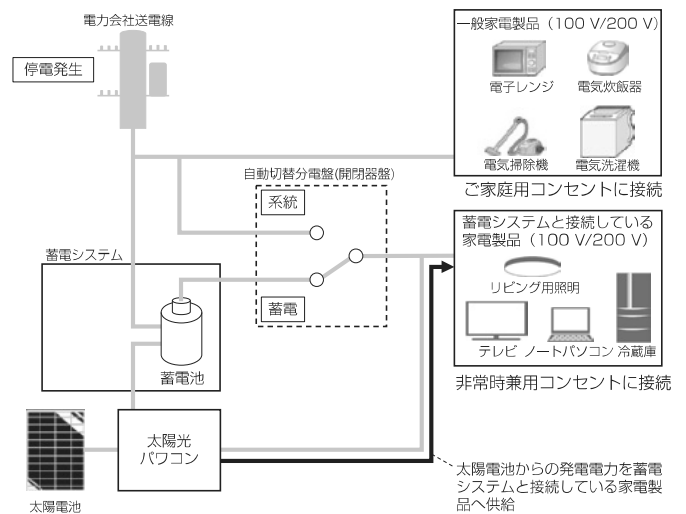
停電時運転中は室内リモコンのメッセージに従って、太陽光パワコンの「自立⇔連系」運転を切り替えてください。

- ① 蓄電池に充電するときは、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えてください。蓄電池残量がゼロになった場合や停電時運転中に蓄電池へ充電したい場合は、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えることで、蓄電池に充電されます。
- ② 蓄電システムと接続している家電製品へ給電を開始するときは、太陽光パワコンを「連系運転」に切り替えてください。家電製品へ給電を開始します。

全負荷対応型で接続した場合



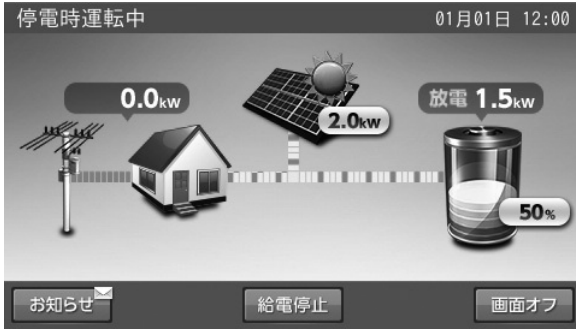
重要負荷対応型で接続した場合



また、蓄電システムで外付け太陽光発電設定が「あり」に設定されているとき、使用状況に応じて室内リモコンの画面にメッセージが表示されます。上記接続以外で配線した場合でも「停電時運転中の状態メッセージ」は表示されます。

■ 停電時運転中の状態メッセージについて

【停電時運転中】



自立運転中です。(太陽光パワコンは連系運転中)
メッセージは表示されません。

※ 蓄電池残量が90%以上の場合は、【太陽光パワコンからの発電量過多】に切り替わります。

【太陽光パワコンからの発電量過多】



停電時運転中に太陽光パワコンからの発電量が過多のとき、または蓄電池残量が90%以上のときにメッセージが表示され、太陽光パワコンは一時停止します。蓄電システム側で自動的に発電量を調整するため、特別な操作は必要ありません。この状態が解消されると【停電時運転中】に切り替わります。

● 太陽光パワコンからの発電量が『家電製品の消費電力+蓄電システムの最大充電電力(3.0 kW)』を上回った場合、太陽光パワコンからの発電を停止させます。その際、家電製品への給電は蓄電システムから続きます。また、太陽光パワコンからの発電量が『家電製品の消費電力+蓄電システムの最大充電電力(3.0 kW)』を下回った場合は、太陽光パワコンからの発電を開始させます。

※ 太陽光パワコンからの発電量が過多のとき、蓄電システムからの給電を1秒程度停止させる場合があります。

※ 停電時運転中に【太陽光パワコンからの発電量過多】を繰り返す場合は、50ページをご確認ください。

※ 太陽光パワコンに周波数異常を知らせる表示が出るがありますが、不良ではありません。

【蓄電池残量ゼロ、または太陽光パワコンから充電中】



停電時運転中に蓄電池残量がゼロ、または太陽光パワコンから蓄電池へ充電するときにメッセージが表示されます。蓄電池へ充電するため、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えてください。蓄電池へ一定量充電されると、【太陽光パワコンを連系運転へ切替】に切り替わります。

※ 停電時運転中に「放電」⇔「充電」動作を繰り返す場合は、50ページをご確認ください。

【太陽光パワコンを連系運転へ切替】



太陽光パワコンを連系運転に切り替える準備が完了したときにメッセージが表示されます。停電時運転に戻すため、太陽光パワコンを「連系運転」に切り替えてください。【停電時運転中】に切り替わります。

※ 停電時運転中に太陽光パワコンの設定が蓄電システムの期待する入力になっていない場合、電力の流れが途切れて表示される場合があります。その場合は、室内リモコンのメッセージに従って、太陽光パワコンを「連系運転」にしてください。

※ 停電時運転中に「放電」⇔「充電」動作を繰り返す場合は、50ページをご確認ください。

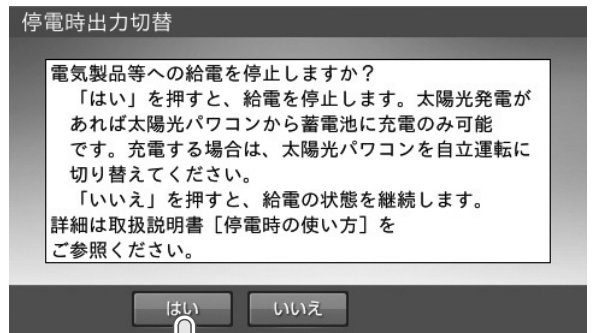
次ページへ続く

停電時運転中に給電を停止する

1 「給電停止」をタッチする



2 「はい」をタッチする

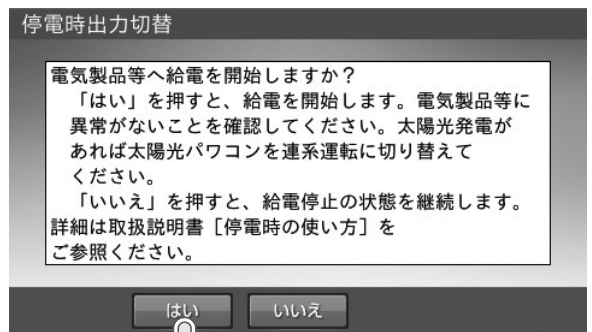


停電時運転中に給電を開始する

1 「給電開始」をタッチする



2 「はい」をタッチする



メモ

「■例：ホーム画面～その3～」(18 ページ)、「停電時に給電できない場合」、「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(50 ページ)、「停電時の接続事例」(65 ページ)も併せてご確認ください。

停電時の家電製品の利用について

蓄電システムと接続している家電製品に供給できる電力は外付け太陽光発電の発電状況により異なります

- 外付け太陽光発電が全く発電していない状況では、片相 1.5kW/ 両相合計 3.0 kW ですが、発電するとその分増加します。
- 蓄電システムが供給できる電力以上の家電製品が接続された場合は、室内リモコンにメッセージを表示して家電製品への給電を停止します。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてシステムを再起動させてください。また、突入電流などの家電製品の特性により、同様の現象が発生する場合があります。
- 各相に効率良く電力を供給するために、家電製品を各相にバランス良く接続してください。
- 自動切替分電盤（開閉器盤）の切替スイッチが切り替わる時、2 秒程度電気の供給が瞬断します。そのため、瞬断が発生すると不都合が生じる機器（医療機器等）は接続しないでください。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- 途中で電源が切れると不都合が生じる家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用する際には、動作させる前に、他の家電製品を減らすなど、蓄電システムが供給できる電力を超えないように工夫してください。
- 動作電流が大きい家電製品や業務用機器などは自立運転切り替え時に動作しなかったり、過電流保護が働いてしまう可能性があります。

家電製品をご使用の際は、下記のとおり注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止	医療機器等
途中で電源が切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止	デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、業務用機器等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器等
保温機能がある家電製品	動作しない場合がある	炊飯器、温水洗浄便座等
生命の安全にかかわらない家電製品	接続可能	
瞬停後の自立運転において正常に動作する家電製品	接続可能	

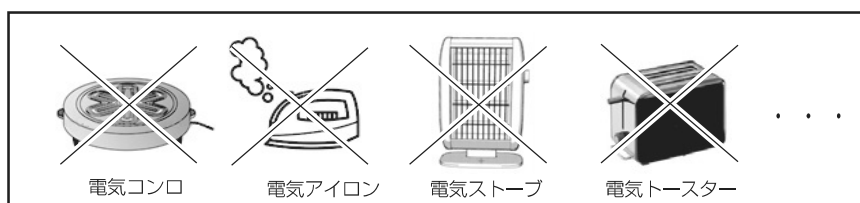
- その他、防犯機器、電熱機器、ヘアードライヤー、電子レンジ、大型液晶テレビ、プラズマテレビ、ホットプレート、温水洗浄便座、モーターで作動する機器（エアコン、洗濯機、掃除機、冷蔵庫、揚水ポンプなど）は機器が正常に起動、動作できない場合があります。



本蓄電システムでは災害による停電の場合、自動的に自立運転に切り替えて電力供給を開始するため、通電火災を引き起こすおそれがあります。そのため、電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品の扱いについては、下記のご注意ください。

- ・ 系統運転時：蓄電システムと接続しているコンセントに接続したままにせず、ご使用後はコンセントから外してください。
- ・ 自立運転時：通電しても安全であることを確認した後、蓄電システムと接続しているコンセントに接続してください。

電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品一例



蓄電システムと接続しているコンセントの一時的な電源 OFF について

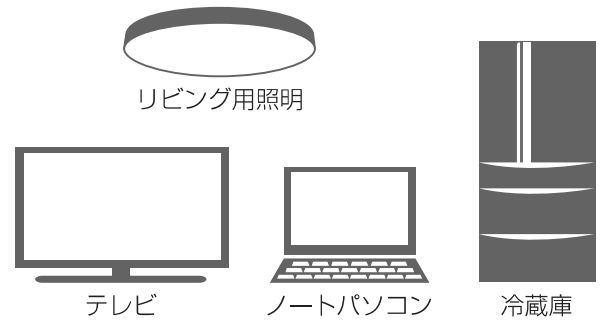
- 蓄電システムと接続しているコンセントの電源は、通常→停電時に約 2 秒間、停電→復電時に約 3 秒間、電源が OFF します。

■ 下記の家電製品を最大 30 時間 (ESS-U4X1) / 21 時間 (ESS-U4M1) 利用可能^{*}です

接続家電製品例

- 冷蔵庫：120 W
- 液晶テレビ：170 W
- リビング用 LED シーリング照明：100 W
- ノートパソコン、ルーター等：30 W
- 携帯電話充電（2 台）：10 W
- 合計：約 430 W

※ 蓄電システムのみ使用した場合のおおよその目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件により変わります。



復電時の操作

- 停電後復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。
- 太陽光パワコンの取扱説明書に従って、「連系運転」に切り替えてください。
- 電力会社との協議で定められた時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作になります。復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは通常時のモードで動作します。